

【学校だより】

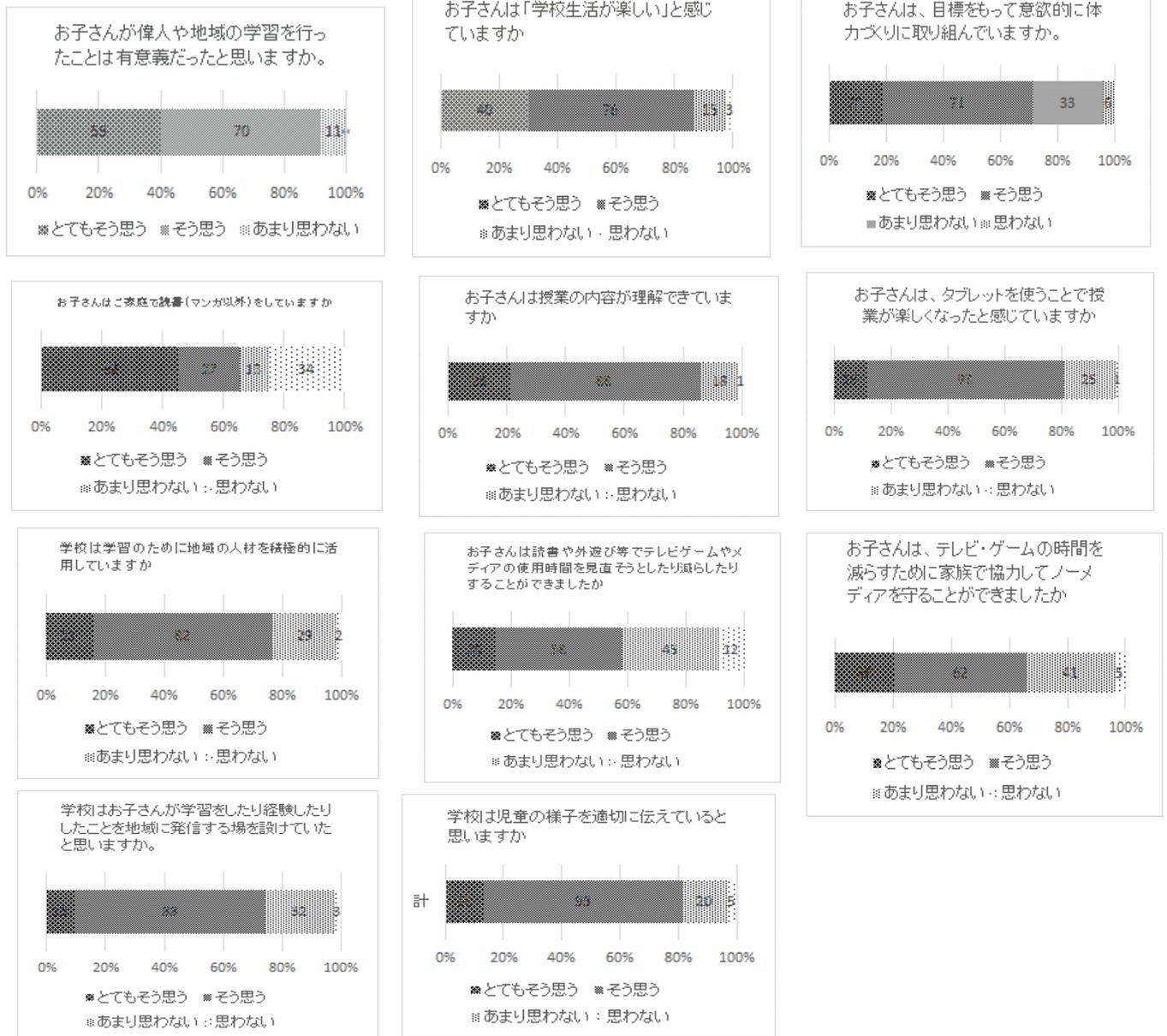
かがやくこころ ver3

令和5年 3月20日(月)



学校評価の結果より

大変遅くなりましたが2学期末に子ども達や保護者の皆様にアンケートで答えていただいた結果を下記のとおりまとめさせていただきました。(ちなみ下の表は保護者の方の集計結果です)



ふるさと学習に取り組んでいることについては多くの保護者の方にご支持をいただいていることが分かりました。また学校を楽しく感じているお子さんも9割に迫っています。

学校生活の殆どが授業の時間ですので、必然的に毎日の授業が楽しくなれば、学校生活が楽しくなると考えています。従ってふるさと学習と毎日の授業の2つを大きな学びの柱とすることが大切です。

まず、次年度は「人と関わる」ふるさと学習を通じて「地域を知る、学ぶ」とともに、「地域から課題を見つけて自分たちで解決に向けて追究していく」学習を展開したいと考えています。地域を大切に思い地域の力を借りて学ぶことがこれから成長する子ども達に必要な力を育むことにつながると考えます。さらに毎日の学習

が楽しくなるためには個人のニーズに合った学びが大切です。AIドリルなどを活用して学びの時間を有効に使える工夫が必要になります。子ども達を中心に学習を進める学習はこれまで通り大切にしなければいけません。

一方課題もアンケートからは見られます。

①活字に触れたり身体を動かしたりする機会を増やすこと

昨今のデジタル機器の普及により、多くの児童が家庭でもゲームやネットに触れています。もはや時代を生きる子ども達のツールとなっています。従ってそれを否定することはもはや不可能です。それよりも「ゲームもいいけど外遊びや読書も面白いよ」という事を知る機会が必要なのかもしれません。友達の家遊びに行ってもゲーム機を持って行くというのもよく聞く話です。これまで学校では日課を工夫して朝読書の時間をとったり、休み時間には全員で遊ぶ時間を作ったりクラスのお楽しみ会でみんなで楽しむ機会を作ったりして「楽しむ」ことについて取り組んできました。また児童会が中心になってお楽しみ会を企画したりもしています（上は3/17かたばみ集会でのクイズ大会の様子）



ます。

学校でも児童が読解力や想像力を育てるためにも読書指導は今後も行いますが、ご家庭でもぜひ本や活字に触れたり、親子で体を動かしたりする機会を工夫していただければと思います。

②人材の活用、発信活動

これまでコロナ禍もあり人との関わりを制限し、本校ではようやく保護者の方に月1回の学校参観に来てお子さんの学習の様子を見ていただくことができました。さらに次年度は年度末に1年間の学習の成果を保護者や地域に披露する場を設けていきたいと思っています。また、全ての学年で地域の人と関わる学びを展開したいと思っていますので、今年以上に地域の方と関わる機会を持てればよいなと思っています。また学年の学びにマッチした方がいらっしゃいましたらご紹介いただけると幸いです。

4月からは新1年生も入ってきますし教職員の構成も変わります。新たな気持ちでスタートしたいと思いますので、次年度も今年度同様に学校教育にご理解ご協力をお願いいたします。